第47回国際日本文学研究集会

令和6年(2024年) 5月11日 <u>+</u> · 12日 日

主催:大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館

会場:国文学研究資料館大会議室及びオンライン(Zoom・YouTubeライブ配信) ※ハイブリッド開催

11日 13:00~

開会挨拶 渡部 泰明 (国文学研究資料館 館長)

[総合司会] 齋藤 真麻理 (国文学研究資料館 教授)

第1セッション ※時間はすべて日本時間です

(1) 中世の鴉詠―京極派の時代とそれ以降― 曹怡(お茶の水女子大学大学院博士後期課程)

(2) 漢詩と仏教と煎茶: 江戸禅僧の詠茶詩にみる文人交遊 13:45~14:15

梁 旭璋(重慶交通大学外国語学院 専任講師)

(3) 『英草紙』第九篇における高師直像の成立 14:20~14:50

<u></u>並木宗輔の太平記物浄瑠璃との関係をめぐって

王 順鑫(中国人民大学外国語学部日本古典文学専攻 博士後期課程)

休憩 10分 14:50~15:00

第2セッション

(4) 『伊勢物語』における散文と和歌の関係

15:00~15:30

13:10~13:40

―和歌に対する語り手の批判的言葉のユーモアについての考察―

GUILLEMOT Oriane (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士後期課程 比較社会文化学専攻)

(5) 京都儒者親四天王の社会教化をめぐる試論

15:35~16:05

一伊藤仁斎と浅見絅斎の著述活動の比較検討を中心に―

董 航 (東京経営短期大学経営総合学科 講師)

(6) 曲亭馬琴の善悪観 16:10~16:40

――『開巻驚奇侠客伝』に於ける「盗賊」のメタファーをめぐって― 任 姍(青山学院大学日本文学部 客員研究員)

休憩 10分 16:40~16:50

インフォメーション・セッション

① 異分野融合による総合書物学の拡張的研究・国文研ユニットの活動紹介 16:50~16:55

木越 俊介(国文学研究資料館 教授)、松永 瑠成(国文学研究資料館 特任助教)

② 文学による沖縄からブラジルまでの繋ぎをマップする 16:55~17:00

Welch Shannon (東京大学東京カレッジ 特任研究員)

③ 『新古今和歌』熊野御幸歌群の増補について 17:00~17:05

黄 鶴翔 (筑波大学国際日本研究プログラム 博士後期課程)

④ 源氏<mark>物語にお</mark>ける終助詞カシ 17:05~17:10

小原 みと希 (中央大学大学院文学研究科 博士後期課程)

⑤ 近世文学史、近世漢詩文の伝記著作情報を独和で紹介する「詩史データベース」 17:10~17:15 Fink Victor Jonathan (ハイデルベルク大学 博士後期課程)

背景画像:国文学研究資料館蔵『源氏物語絵屏風』より

DOI: 10.20730/200019740

第47回国際日本文学研究集会

令和6年(2024年) 5月11日 <u>+</u> · 12日 日

12日 10:30~ [総合司会] DAVIN Didier (国文学研究資料館 准教授)

12 10.00	
第3セッション	※時間はすべて日本時間です
(7) 崩れる境界線:教養小説の視座から見る芥川龍之介『杜子春』 桂 嘉雨 (ハーバード大学 東アジア研究修士)	10:35~11:05
(8) 芥川龍之介初期作品「老年」と「羅生門」における高齢者表象 高 啓豪 (台湾・国立政治大学日本語文学系 専任助理教授)	11:10~11:40
休憩 90分(昼食・交流会)	11:40~13:10
第4セッション 第4・セッション アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンド	
(9) 明治後期の文学的国づくり: 国民新聞に詠まれた御歌所歌人の和歌 Carbune Maria (ハイデルベルク大学日本学研究科 博士後期課程PhD)	13:10~13:40
(10) 鏡花文学における温泉表象:『眉かくしの霊』と『鷭狩』を中心に Bianco Andrea (慶應義塾大学 特別短期留学生)	13:45~14:15
(11) 稲垣足穂「WC」論:「遊離」の生成と未来派芸術	14:20~14:50
梁馨蓉(神戸大学大学院博士後期課程)	14.20~14.30
休憩 20分	14:50~15:10
休憩 20分	
休憩 20 分 第5セッション	14:50~15:10 15:10~15:40
休憩 20 分 第5セッション (12) 周縁に生きる人々の「声」としての「手記」 一金子文子『何が私をこうさせたか』を中心としたジャンル的な考察	14:50~15:10 15:10~15:40
休憩 20分 第5セッション (12) 周縁に生きる人々の「声」としての「手記」 一金子文子『何が私をこうさせたか』を中心としたジャンル的な考察 Chaves Gonçalves Pinto Felipe	14:50~15:10 15:10~15:40
休憩 20分 第5セッション (12) 周縁に生きる人々の「声」としての「手記」 一金子文子『何が私をこうさせたか』を中心としたジャンル的な考察 「大江東京 エンサルヴィス ビント フェリッス Chaves Gonçalves Pinto Felipe (筑波大学人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群 国際日本研究学位プログラ (13) 「恥」の運動と連続――大江健三郎「性的人間」論	14:50~15:10 15:10~15:40
休憩 20分 第5セッション (12) 周縁に生きる人々の「声」としての「手記」 一金子文子『何が私をこうさせたか』を中心としたジャンル的な考察 で	14:50~15:10 15:10~15:40 ラム 博士後期課程) 15:45~16:15
休憩 20分 第5セッション (12) 周縁に生きる人々の「声」としての「手記」 一金子文子『何が私をこうさせたか』を中心としたジャンル的な考察 で	14:50~15:10 15:10~15:40 ラム 博士後期課程) 15:45~16:15

● 問い合わせ先:国際日本文学研究集会事務局 E-mail:<u>icjl@nijl.ac.jp</u> ● 〒190-0014 東京都立川市緑町10-3 ● Web:https://www.nijl.ac.jp/

以下のフォームからお申込ください。【受付締切:5月8日(水)17:00】

参加申込 https://forms.gle/ECLyB5tYDbJ3g76t6 ※参加人数制限あり

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館 National Institute of Japanese Literature

背景画像:国文学研究資料館蔵『源氏物語絵屏風』より DOI: 10.20730/200019740